

楽しみ
だな～



11 月はぬりえにチャレンジ！



きれいに
ぬってね！





こんにちは！株式会社のぐちです！11月です。今年もワインの季節がやってきました。日本で最初にワインが醸造されたのは山梨県の甲州は勝沼。時を同じくして茨城県の牛久でも始まりました。どちらのワイナリーも有名ですね。父が甲府出身でしたので、夏休みになると叔父さん、叔母さん、従兄弟がワンサと押しかけてきました。お土産は一升瓶に詰められた「ぶどう酒」。赤紫の不思議な液体を日本酒さながらに湯飲みでジャバジャバと注いで飲み、笑い、語る大人たち、いまだに思い出します。という私もワインは大好物！どちらかと言うと国産よりも外国産に手が伸びてしまいますが、反省！これからは国産ワインも大切にしようと思う今日この頃です。

株式会社 のぐち



11月の歳時記

「案山子（かかし）」

11月29日は「十日夜（とうかんや）」。

旧暦10月10日に行われる収穫祭で、東日本を中心に行われている行事です。十日夜には、田の神様の化身とされているかかしにお供えものをしたり、かかしと一緒にお月見をしたりする「かかしあげ」の風習があります。案山子の語源は「嗅がし（かがし）」説が有力です。初期の案山子は髪の毛や魚の頭、獣肉などを焼いて串に刺し、その悪臭で鳥獣を追い払っていました。平安時代末期になり、竹や藁で作られ、着物や蓑と笠をまとった人形が田畑に立てられ、人がいるように見せかけて鳥獣を防ぐようになりました。また、案山子は単なる鳥獣よけではなく、信仰の対象でもありました。春、山から降りてきて田を守り、秋になり無事に稲の収穫が終わると再び山にもどられる「田の神様」が宿る場所、田の神の依り代（よりしろ＝神霊が宿る器）と考えられていました。一本足の案山子は古代神話にも登場します。ずっと一本足だったのですね。お役目を終えた案山子は田畑から引き上げられ、新しい服やお供え物で労をねぎらわれます。この時期になると「案山子フェスティバル」や「案山子まつり」が各所で行なわれています。保育園や小学校でも案山子作りをしたり、農業体験に合わせて案山子作りを取り入れたり、案山子さん、愛されていますよ。

それでは皆さま、今月も元気で笑顔で伺いますので、笑顔でむかえて下さいね。

これいいじゃん

便利グッズ研究会からのお知らせ

私たち「便利グッズ研究会」では独断と偏見で選び抜いた便利グッズを皆様にご紹介することを生きがいとしております。ハイ！今回ご紹介するのは、

「リス 段ボールゴミ箱45 2枚組」

野外イベントなどで何かと活躍するゴミ箱ですが、持ち運びがけっこう大変。そこで登場！軽くて持ち運びやすい段ボール製のごみ箱はいかがですか。屋外での使用を想定して、風にも負けないよう袋を固定する溝をつけました。「燃えるゴミ」「びん」「カン」など、わかりやすく書き込めるスペース付です。印刷した紙などを貼る際に水平の目安になるガイドメモリ付。裏と面で日本語と英語表記で外国の方にもわかりやすい！脚をつけることにより、安定感が有り、地面から少し底面が浮いた構造にして風通しをよくしました。ガムテープなどがなくても、簡単に組み立てが可能です。段ボールなので使用後の処理も楽々です。工夫をこらし使いやすさにこだわった、おしゃれで便利なゴミ箱！「これいいじゃん」ってわけ、ぜひ皆さまも試してみてくださいね。

段ボール
ゴミ箱2枚セット
45

小売希望価格 2,190円（税別）

スタッフ登場

暑さ寒さも彼岸までと思っていだら、あつという間に秋の夜長も終盤に…

とは言え、気温も落ち着いて湿度も下がってくると、必然的に空気が澄んできますので、夜空を見上げることが楽しみな季節でもあります。

テレビやらネットでもちらほら取り上げられていますので、ご存じの方も多いとおもいますが、現在2つの彗星が見頃となっています。ただ肉眼での観測は街灯などの影響を受けにくい暗い場所や高所でないとい難しいかもしれません。

流星群の1つである『おうし座流星群』も、今年は活発な活動が予想されています。こちらは流れ星の数こそ少なめですが『火球』と呼ばれる、時に月よりも明るくなるものの出現数が多いです。特に今年はその確率が高くなる当たり年との予想が出ていますので期待しているところですよ。

実は流星群と彗星は密接な関係があります。興味があればそんなところも調べてみてはいかがでしょう。壮大な宇宙の歴史の一端に触れられるのではないでしようか。

夜間は相当冷え込んできました。観測される際は防寒対策をしっかりとして臨んで下さいね。

SE・鈴木でした。

